

学生支援報告会終了後のミニ会議報告書

出席者：柳瀬会長 陣内副会長 林副会長 原田さん 梶山先生 重野さん 青木先生 山手さん
石橋さん（佐賀） 鈴木さん（佐賀） 江藤さん 稲吉
議事録作成：稲吉

・事務局からの提案。平成 29～32 年までの収支予測を提示。「同窓会活動を今後どうしていくか。新風は送料が高い、後 2 年発行し、その後は希望者のみ送付で、基本 HP 掲載にしていきたい。役員会に関しては、来年までは各支部から 3 人前後代表して役員会を実施するが、その後は以前のように、本部のみ集まり、支部には書類を送付し、意見を伺う。来年はサラトの支払と大分での役員会が必須、今年の学生支援と同額を計上すると大きく赤字。現状通りの活動を継続するかもしれない。同窓会存続の為に活動を縮小するか。1 月の役員会でご意見を伺いたい。今後 3 年くらいの方向性を決めたい。」

→活動は続けられないといけないと思う。

→本部からの最低限の支援は必要だが、支部も協力していきたい。

→50 周年の 5 年位前は何もしていない時期、だからお金が貯まった。お金を使っている分だけ、色々対応できている今がいいのでは。

→経費の削減は必要。減らせるところは減らして。

→大学卒 1 桁くらいまでは郵送して、あとはメールや HP で活動報告してもいいのでは。

→メルマガみたいに、新着を UP した際お知らせを一斉送信できれば。

→今までは待ちの姿勢だったが、今後 HP や twitter 等を利用し、同窓会から発信していくことをしてもいいのでは。

コマに渡した手紙に対して

→来年の久工大場所に向けて、今からもう動いたほうがいいのでは。

→高校に大学の先生が行くよりも、学生が直接行って、担当してくれる先生を見つける方が効果があり、真剣に参加を検討してもらえるのでは。